

所有者不明猫適正管理推進事業アンケート結果(事業実施者)

所有者不明猫適正管理推進事業に関して、本事業で指定を受けた地域の実施者に対しアンケート調査を実施

アンケート実施期間:平成29年5月から7月

実施方法:対象者へアンケート用紙を配付し、後日回収

対象者:平成20年度から21年度の所有者不明猫適正管理推進モデル事業及び平成22年度から平成28年度の本事業で指定を受けた地域の実施者167名

回答者数:92名(回収率60.5%:返送15件を除く)

アンケート回答内容

質問	質問1																		質問2	
	(1) 初期相談窓口		(2) 五費用負担について						(3) 実際の実施者数		(4) に実施者数3名			(5) 地域の承認		(6) 手術の病院		(7) 現在の活動		自由記載数
選択肢	このまま	変更希望	適正	高く7千	高く6千	安く4千	安く3千	3名	それ以外	適正	4名以上	2名以下	現状通り	変更希望	現状通り	その他	継続	終了		
回答数	76	10	45	1	0	5	31	33	50	46	6	26	67	15	61	18	78	6	61	
割合	88.4%	11.6%	52.9%	1.2%	0.0%	5.9%	36.5%	39.8%	60.2%	59.0%	7.7%	33.3%	81.7%	18.3%	77.2%	22.8%	92.9%	7.1%		
全回答数	86		85						83		78			82		79		84		61
回答率	93.5%		92.4%						90.2%		84.8%			89.1%		85.9%		91.3%		66.3%

質問1(1)初期相談窓口「変更希望」を選択した10名の回答について

	動物愛護相談室のみに	各区役所	手続き簡素化
件数	7	2	1

質問1(3)実際の実施者数「それ以外」を選択した49名の回答について

	1名	2名	4名	5名	6名	7名	8名	9名	10名	15名	20名
件数	12	18	7	3	5	2	0	1	1	1	1

質問1(5)地域の承認「変更希望」を選択した15名の理由について

ご意見	件数
地域の理解が得られない	1
町会長等の理解が得られない・得られにくい	2
町会長等の理解が得られなければ進まない	3
町会長の合意期間を3年にしてほしい	1
町会長等の理解は行政が直接得てほしい	2
町会長等の了解は不要	1
個人実施で構わない	1
まちづくり協議会等も地域代表としてほしい	1
猫を好きな方のみで実施	2
無記入	1

質問1(7)現在の活動「終了」を選択した6名の理由について

- ・全頭手術したため
- ・反対する人が多い事と、猫がいなくなったため
- ・相談の応じてTNRなど行うこともある
- ・一緒にやってた人と問題が発生したため
- ・引っ越ししたため
- ・活動メンバーの高齢化による

質問2 自由記述内容(61件から抜粋)

事業に対する御要望(33件)

- ・手術した猫の耳カットが不均等であり、もっと目立つようにしてほしい。
- ・府営・市営住宅の人が困っているのに、担当部局が協力的ではない。
- ・猫の不妊去勢手術需要は高まっており、個人ボランティアの努力もあり、猫の引取り数や殺処分数は減少しており、さらに加速するためにも街ねこ制度の充実を望む。
- ・担当者が毎年かわるので、複数年担当をかえないでほしい。また、かわるのであれば、しっかりと引き継ぎをしてほしい。
- ・不妊手術の時に、ワクチン接種をしてほしい。
- ・地域に理解を求めていくうえで、行政の人にもっと働きかけてほしい。
- ・体力や金銭面等の負担が重い。
- ・不妊手術をしても、他から猫が来るので、いたちごっこみたいです。
- ・猫の嫌いな人もいるため、地域の人に理解もらうのには時間がかかる。
- ・街ねこ事業を土日祝日に行なえるようにしてほしい。
- ・手術ができない子猫を保護したときに、手術が出来るようになるまで、預かってもらえるような団体等を教えてほしい。
- ・出来れば、町会全体ではなく、4～5名位のグループで地域で世話をしているところもあるため、そこも見てほしい。
- ・不妊手術の料金は、2～3千円が適当であり、個人負担が高いと消極的になる。
- ・地域ボランティアの育成等をおこなっていかねば、事業の継続は難しいと思う。
- ・体調を崩す猫もいるため、薬なども提供していただくと、ありがたいです。
- ・ノミ感染予防のために、街ねこ事業でのノミ対策の義務化。
- ・市の事業には、檻などを搬送してもらえることがありがたい。認知度が低いと感じるため、広報活動に力をいれるべき。
- ・まだ、この事業について周知されていないので、このような取り組みを大阪市でもやっているという宣伝をしてほしい。

良い事業である等の御意見(14件)

- ・この事業は、市の職員が搬送等してくれるので、利点があると思う。
- ・この事業で、ゴミあさりや鳴き声の苦情がなくなったので、今後も事業の継続を。
- ・この事業に参加して、子猫の減少や糞尿等の苦情が少なくなり、地域の方々から感謝してもらったので、この事業の必要性を実感している。
- ・町会の方と意見交換会を開いて理解を深めた。
- ・この事業は是非とも継続して欲しい。官民共同で活動すると、周り理解も深まる。
- ・他の猫が来ても、耳を切っているのを見ると安心する。
- ・この事業のおかげで、今では猫も減っています。

その他の御意見(7件)

- ・ペットショップ・ブリーダー等は廃止すべきである。
- ・猫の世話より、人間関係のほうが大変。
- ・不幸な野良猫を増やさないために、地域の人のお話を聞きながら取り組んでいる。

大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」実施の皆様へ

平素は本市動物関係行政に御理解、御協力賜り、厚くお礼申し上げます。

所有者不明猫（いわゆる野良猫）のふん尿などによる生活環境被害や野良猫が繁殖して増えるなど、地域における野良猫に関する問題を解決するため、皆様のお住まいの地域で標記の事業を実施していただきました。本事業の実施にあたり、皆様方をはじめ、多くの関係者の方々に多大な御尽力と御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

このたび、より一層効果的に事業を進めていくための参考とするため、事業を実施されました皆様方の御意見・御感想をお聞かせいただきたく、次のとおりアンケート調査を実施いたしますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

質問1 この事業を実施されて、どのようにお感じになりましたか。

(1)～(6)について、それぞれあてはまるものを選び、その番号に 印をつけてください。

(1) 初期相談窓口について

事業を実施するにあたり、まずは身近な市民相談窓口である区役所で初期相談していただき、実施条件を満たした場合、実施機関である動物愛護相談室において申請手続きをしていただいております。これに関してお尋ねします。

このままにしてほしい 相談窓口を変更してほしい

（ の場合：どこに。またその理由 ）

(2) 地域の費用負担 5,000 円について

本事業は地域、行政、委託動物病院の3者協働事業であるため、不妊去勢手術費用として地域にも1匹あたり5,000円を負担（行政はオス5,000円、メス8,000円を負担。残りは委託動物病院が負担）していただいております。この金額についてお尋ねします。

適正な金額である 高くした方がよい 安くした方がよい

（ または の場合：ア 7,000 円以上 イ 6,000 円 ウ 4,000 円 エ 3,000 円以下 ）

(3) 実施者数について(その1)

猫への給餌、後片付け、トイレ管理等を継続的に実施するには最低3名は必要であることから、本事業では窓口になっていただく3名（内1名は地域にお住まい）の方を報告していただいております。これに関して実際に猫の世話を何名でしていますか

3名 それ以外(名)

(4) 実施者数について(その2)

(3)のとおり、本事業では活動を継続的に実施するには最低3名は必要であるとしておりますが、実施者としてどのようにお考えでしょうか。

適当である 4名以上とした方がよい 2名としても問題ない

(5) 地域の承認について

事業を円滑に実施するため、事業実施にあたっては町会長等地域代表の了承を得てもらっています。これに関して

地域に理解してもらっていた方が実施しやすいのでこのままでよい
制度を変更してほしい。

の場合:どのように。またその理由。

(6) 手術の病院について

本事業の不妊去勢手術は公募で募集した委託動物病院の中から、実施者の希望の病院で実施しています。これに関して

病院を選べるのであれば特に問題はない。

もっと多くの病院から選べるようにしてほしい。

(7) 不妊去勢手術実施後の当該地域での活動について

その後も猫の世話を続けている。

現在は当該地域で活動していない。

の場合:その理由

質問2 事業についてのご意見・要望等をご自由にお書きください。

*** アンケート調査にご協力いただき
ありがとうございました。***



大阪市動物愛護相談室
大阪市東成区大今里西 1-19-29
電話 06 6978 7710

平成29年6月

所有者不明猫適正管理推進事業アンケート結果(実施希望者)

資料5 - 2

所有者不明猫適正管理推進事業に関して、本事業について窓口へ相談に来られた市民に対しアンケート調査を実施

アンケート実施期間:平成29年5月から7月

実施方法:対象者へアンケートに沿って聞き取り

対象者:地域の所有者不明猫に関する御相談に来られた市民のうち、本市職員が所有者不明猫適正管理推進事業による解決方法の説明をし、アンケート調査に応じられた方

回答者数:12名

アンケート回答内容

質問	質問1														質問2
	(1)初期相談窓口		(2)費用負担5,000円について				(3)実施者数3名について			(4)地域の承認		(5)手術の病院		(6)制度変更希望	自由記載
選択肢	このまま	変更希望	適正	高く	安く4千	安く3千	適正	4名以上	2名以下	必要	変更希望	現状通り	その他		
回答数	12	0	6	0	0	6	11	0	1	8	2	9	2	4	7
割合	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	91.7%	0.0%	8.3%	80.0%	20.0%	81.8%	18.2%		

自由記載欄(一部抜粋)

質問1(3)(記載数1件)

- ・できる範囲でやるべき事をやっていますよ。

質問1(4)(記載数1件)

- ・町会の許可がない場合もあるので、キッチリと管理できるのであれば、できるようにしてほしい。

質問1(6)(記載数4件)

- ・制度が分かりにくい(窓口で説明を聞いて良くわかった)。
- ・本件実施者には腕章を配布して、目印的なものがあれば助かる。たとえ1名の実施でも認めてほしい(どうしてもグループを組めない場合もあるため)。
- ・行政が出す金額を5,000円で、街ねこ制度を使う人は無料にしてあげてほしい。
- ・平日の時間外や休日に地域に説明に来て欲しいです。電話でも時間外に相談したい。

質問2(記載数7件)

- ・ご苦労様ですが、事業の拡大充実を図っていただきますようお願いいたします。
- ・大変ありがたく思っております。相手が動物ですので、相談のしようがなく、ご協力いただけて幸いです。ありがとうございます。
- ・こういう制度があることを知らない人が非常に多い。もっと広めてほしい(周知をひろげてほしい)。
- ・私を入れて年配の方が多く、お金がない。でも助けてやりたい。
- ・〇〇区民のモラルが低すぎるので、もっと啓発活動をしてほしい。このままではボランティアが長続きしない。
- ・いろいろな相談にのっていただきありがとうございました。猫ちゃんのため、何が良いかを今後も考え活動していきたいと思いました。
- ・実際に運営してみてから、意見・感想を述べさせていただきます。

アンケート用紙（事業実施希望者）

No.

アンケート調査のお願い

大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」実施希望の皆様へ

平素は本市動物関係行政に御理解、御協力賜り、厚くお礼申し上げます。

所有者不明猫（いわゆる野良猫）のふん尿などによる生活環境被害や野良猫が繁殖して増えるなど、地域における野良猫に関する問題を解決するため、標記の事業を実施しております。

このたび、より一層効果的に事業を進めていくための参考とするため、事業実施を希望されている皆様方の御意見・御感想をお聞かせいただきたく、次のとおりアンケート調査を実施いたしますので、御協力のほどよろしく願いいたします。

質問1 この事業の制度について、どのようにお感じになりましたか。

(1)～(6)について、それぞれあてはまるものを選び、その番号に 印をつけてください。

(1) 初期相談窓口について

事業を実施するにあたり、まずは身近な市民相談窓口である区役所で初期相談していただき、実施条件を満たした場合、実施機関である動物愛護相談室において申請手続きをしていただいております。これに関してお尋ねします。

このままにしてほしい 相談窓口を変更してほしい

（ の場合：どこに。またその理由 ）

(2) 地域の費用負担 5,000 円について

本事業は地域、行政、委託動物病院の 3 者協働事業であるため、不妊去勢手術費用として地域にも1匹あたり 5,000 円を負担（行政はオス 5,000 円、メス 8,000 円を負担。残りは委託動物病院が負担）していただいております。この金額についてお尋ねします。

適正な金額である 高くした方がよい 安くした方がよい

（ または の場合：ア 7,000 円以上 イ 6,000 円 ウ 4,000 円 エ 3,000 円以下 ）

(3) 実施者数について

猫への給餌、後片付け、トイレ管理等を継続的に実施するには最低3名は必要であることから、本事業では窓口になっていただく3名（内1名は地域にお住まい）の方を報告していただいております。これに関してお尋ねします。

継続的な世話には3名は必要であり適正人数である

4名以上必要である (名。その理由)

2名以下で十分である (名。その理由)

(4) 地域の承認について

事業を円滑に実施するために、事業実施にあたっては町会長等地域代表の了承を得てもらっています。これに関してお尋ねします。

地域に理解してもらっていた方が実施しやすいのでこのままでよい制度を変更してほしい。

(場合:どのように。またその理由。)

(5) 手術の病院について

本事業の不妊去勢手術は公募で募集した委託動物病院の中から実施者の希望の病院で実施しています。これに関してお尋ねします。

病院を選べるのであれば特に問題はない。

その他()

(6) その他、本制度に関して変更してほしい事項

質問2 事業についてのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

*** アンケート調査にご協力いただき
ありがとうございました。***



所有者不明猫適正管理推進事業アンケート結果(担当職員)

所有者不明猫適正管理推進事業に関して、窓口等に対応している職員に対しアンケート調査を実施

アンケート実施期間:平成29年9月

実施方法:対象者へアンケート用紙を配付し、後日回収

対象者:動物管理センター分室職員15名及び市内24区の生活環境担当職員72名、計87名

回答者数:87名(回収率100.0%)

アンケート回答内容

質問	質問1									質問2
	(1)市民負担額について		(2)適正金額について((1)で の者)			(3)実施者数3名について			自由記 載数	
選択肢	適切	高額	4,000円	3,000円	3,000円未満	適正	多い	その他		47
回答数	58	28	1	13	14	68	3	15		
割合	67.4%	32.6%	3.6%	46.4%	50.0%	79.1%	3.5%	17.4%		
	(1名未記入)		(1名未記入)			(1名未記入)				

質問1(3): (実施者数:その他)と回答者の記述内容(13件:2件は記述なし)

増やすべき(7件)

- ・3名共地域住民に絞ってもいい。中心人物がいなくなり、管理する者がいなくなった例がある。
- ・3名とも地域の住民にすべき。
- ・3名では少ないと思う。
- ・申請時から頭数が増えている地域があり、3名では適正な管理ができないと思う。

減らすべき(1件)

- ・実質1名のところもあり、人数要件は不要と考える。

その他(5件)

- ・3名のハードルが高いという意見も多いが、転宅や病気等で世話人がいなくなる場合も十分に考えられる。
- ・3名以上は適正だと思いますが、小規模で匹数が少ない場合は2名以上(ただし、地域に住まいの方2名)としても可能ではないかと思われます。
- ・事業申請の障壁にはなっているが、適正な人数である。

質問2 自由記述内容(47件から抜粋)

実施人数に関すること(6件)

- ・3名が適切だが、匹数によってはもっと増やした方が良い。
- ・猫の匹数に関係なく一定の管理者(3名)が設定されているが、猫の匹数に応じて管理者を設定してはどうか。例えば、5匹までは2名、50匹までは3名、100匹4名など。
- ・あまり安易に取り組める事業にすると、自覚の少ない活動組織も出てきて、結果的にトラブルに繋がる危険性があるため、ある程度の縛りは必要と考える。

事業内容に対する意見(10件)

- ・行政が自治会との話し合いの場を作るとか、何らかの形で介入可能な様にしてほしい。
- ・当区では一部の案件でさらなる苦情につながっている。動愛法の関係から、このような方法を取らざるを得ないと思うが、人と人との関係から、うまく進んだ事例が本当に多いのか疑問に感じている。
- ・どの地域でも同じと思うが、街ねこ実施地域内の苦情対応について困惑する。
- ・地域合意が得られず断念する方がいるため、個人で不妊措置した場合にも助成を受けられるようにしてほしい。区が窓口ではなく、相談室が窓口になった方がいい場合がある。
- ・税金のムダである。給餌する人間に対してのきつい罰則を作るべきである。

公園猫サポーター制度に関すること(3件)

- ・公園猫サポーターとで従事者への対応が統一されていないため、市民が混乱しており、整理が必要。

市民負担額、市負担額に関する意見(9件)

- ・5000円は負担になっているが、適正管理のためには3名以上を絶対条件とすることは必要。
- ・私に対応した方々は、設定金額が高い・実施者数が多い・内1名は地域住民である事について不満の声を聞いたのは事実なので、アンケートの項目にはそのとおり記入しましたが、個人的には負担金額と実施者数は妥当だと思っています。
- ・5000円が高いということで断念した経験はなく、適切と考える。
- ・率直なところ、現場においては市民から「2名なら集められるのに」「野良猫を減らすために頑張るのだから地域負担は無料にしてほしい、せめて1,000~2,000円くらいにならないか」という声があり、結局事業実施に至らない事案が存在するのは事実です。しかしながら、現在の「街ねこ」制度が単なるTNRや、責任の所在が明確でない「地域猫」制度ではなく、あくまで「適正管理」が確実になされることを柱とした制度であることを堅持してゆかねば、行政としても説明責任を果たすことはできず、事業を維持継続していくことにいずれ困難をきたすことは免れないと考えます。よって、「適正管理」についての実施者及び行政の責任を担保するためにも、安易な条件緩和には極めて慎重であるべきと考えます。
- ・負担金を下げ、管理方法を厳格にすることによって、苦情は起りにくくなると感じる。

広報に関すること(7件)

- ・イベントや広報等でもっと啓発や宣伝をしていくべき。
- ・街ねこ実施地区での苦情が非常に多く、近隣住民に周知されているのか疑問である。転入者への周知を含め、定期的に回覧等で周知することも必要と思う。
- ・もっと周知できれば利用者が増えると思う。町会長が街ねこ制度を理解し、合意しやすいようなパンフレットがあれば、ハードルが下がるのではないか。
- ・現状では本制度の相談に来られる方は、猫好きな方に偏っているように感じます。野良猫が増えすぎて困っているような人が、野良猫を減らすために本制度を利用するように、本制度を告知したほうがよいと思いま

その他(10件)

- ・町会など、地域の合意を得るのが、難しそうに感じる。
- ・この制度で、少しでも猫の殺処分が少なくなればいいと思う。
- ・もっと多くの地域で実施してほしい。
- ・事業実施後のトラブル多い。全責任を代表者等に任せているところに問題がある。苦情対応が区役所 相談室 代表者と遅くなりがち。
- ・事業実施中及び終了後の苦情対応について、部署により認識が違うため、対応に苦慮している。

「所有者不明猫適正管理推進事業」について

所有者不明猫のふん尿などによる生活環境被害や繁殖して増えるなど、地域における所有者不明猫に関する問題を解決するため、本市では標記の事業を実施しております。

このたび、より一層効果的に事業を進めていく参考とするため、窓口等で実施相談者の対応をしている皆様方の御意見・御感想をお聞かせいただきたく、次のとおりアンケート調査を実施いたしますので、御協力をお願いいたします。

質問1 窓口等での相談対応をしていて、どのようにお考えていますか。

(1)～(3)について、それぞれあてはまるものを選び、その番号に 印をつけてください。

(1) 地域の費用負担 5,000 円について

本事業は地域、行政、委託動物病院の3者協働事業であるため、不妊去勢手術費用として地域にも1匹あたり5,000円を負担(本市はオス5,000円、メス8,000円を負担。残りは委託動物病院が負担)していただいています。このうち、地域(市民)負担分についてお尋ねします。

金額は適正であり、事業申請の妨げになっていない。

金額が高く、事業申請の妨げになっている。

(2) (1)で と御回答の方について

地域(市民)負担分の適正金額について、次のうちどのようにお考えですか。

4,000円 3,000円 3,000円未満

(3) 実施者数について

猫への給餌、後片付け、トイレ管理等を継続的に実施するには最低3名は必要であることから、本事業では窓口になっていただく方は3名以上(内1名は地域にお住まいの方)としております。これについて、次のうちどのように感じていますか。

適正な人数であり、事業申請の妨げにはなっていない。

求める人数が多く、事業申請の妨げとなっている。

その他()

質問2 事業についてのご意見・要望等をご自由にお書きください。

[]

*** アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。***

所有者不明猫適正管理推進事業アンケート結果(動物病院)

所有者不明猫適正管理推進事業に関して、本事業で不妊去勢手術を実施した実施事業者に対しアンケート調査を実施

アンケート実施期間:平成29年5月から7月

実施方法:対象事業者へアンケート用紙を配付し、後日回収

対象事業者数:9事業者

回答事業者数:6事業者(回収率66.7%)

アンケート回答内容

質問1 本制度に関して変更してほしい事項(7件・一部抜粋)

- ・市からの捕獲檻の貸し出しを広めてほしい
- ・町会長等の承諾書を簡略化してほしい(町会長と話し合いが出来ずに困っていることがあるため)
- ・北と南区分の撤廃
- ・手術依頼者からの依頼方法の簡素化。
- ・事業者ではなく、個別の病院を指定できるようにしてほしい。
- ・明らかなりスク猫(健康状態悪化)の手術の判断を、受注者にまかせてほしい。
- ・吸収糸の不具合はないのか。

質問2 自由意見(7件・一部抜粋)

- ・本事業が広く理解されてきていると思うので、もっと周知してほしい
- ・活動組織から術式の不満、不具合の報告の有無。
- ・放獣後の死亡例(原因を知りたい)や生存率について情報があれば教えてほしい。
- ・とても良い社会貢献事業と考えており、今後も積極的に実施してほしい。
- ・ケージに黒い布をかぶせて頂くようになってから、猫達が落ち着いていることが多く、無駄に怪我をさせることがなくなって助かっている。

アンケート用紙（動物病院）

地域 No.

アンケート調査のお願い

大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」委託動物病院の皆様へ

平素は本市動物関係行政に御理解、御協力賜り、厚くお礼申し上げます。

所有者不明猫(いわゆる野良猫)のふん尿などによる生活環境被害の軽減と、所有者不明猫の引取り数の削減を目的として、標記の事業を実施しております。本事業の実施にあたり、皆様方をはじめ、多くの関係者の方々に多大な御尽力と御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

このたび、より一層効果的に事業を進めていくための参考とするため、皆様方の御意見・御感想をお聞かせいただきたく、次のとおりアンケート調査を実施いたしますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

質問1 本制度に関して変更してほしい事項がありましたらお書きください。

[Blank area for question 1]

質問2 事業についてのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

[Blank area for question 2]



*** アンケート調査にご協力いただき

ありがとうございました。***

大阪市動物愛護相談室
大阪市東成区大今里西 1-19-29
電話 06 6978 7710

平成 29 年 月